図３：脳と自由エネルギー原理（１）

#3.1
一部の生物には「脳」がある。
脳は、外界からの入力に応じて
行動を制御する神経網である。

from #2.3

to #4.1

#3.2
多くの「脳」は、
環境との相互作用を通じて
後天的かつ柔軟に変化する。

#3.3
脳の挙動は、
「自由エネルギー原理」によって
説明できる。

#3.4
自由エネルギー原理において、
脳は「予測誤差」を
最小化するように動作する。

#3.5
予測誤差は、
・脳の外部としての環境（＝「外界」）がとる
　真の状態 u
をめぐって、
・そこから感覚器にもたらされる感覚信号の列 s
と
・外界についての信念 u_i から計算される予測信号 g(u_i)
との差分 s-g(u_i) として定義される。

from #3.6

#3.7
予測誤差をどれだけ重大に捉えるかを
「精度」と呼ぶ。

#3.8
精度は脳が自主的に変化させることができる
（＝「精度制御」）
（＝「注意」）。